

平成29年度 彩湖・道満グリーンパーク及び周辺地域 さくらねこ無料不妊手術事業 報告書

公益財団法人 戸田市水と緑の公社

平成29年度 彩湖・道満グリーンパーク及び周辺地域 さくらねこ無料不妊手術事業 活動報告

公園の課題

捨て猫が多く、年々野良猫が増えており衛生上の問題や生態系を乱すおそれがある  
無秩序に餌やりをする人がたくさんいる状態なので、餌やり禁止の指導をしても止めてもらえない  
平成25年度に、貴団体から助成をいただいて108頭、平成27年度に29頭、平成28年度に  
92匹のTNRを実施しましたが、新たに捨てられた猫、公園周辺の猫が増えつつある。

愛護ボランティアの課題

餌をやっている場所に来る猫が増えてしまい、餌代の費用負担が重い  
猫の餌やりマナーが悪いので餌やり自体を禁止しており、公園職員や他の来園者とトラブルになる  
今までボランティアが自費で猫の不妊手術をさせていたが、費用負担が重い

4月	埼玉県内で地域猫活動をしている方からの相談を受け、どうぶつ基金の不妊手術事業「行政枠」について申請する。
5月	チケット（45枚）をいただきTNR開始 TNR実績 8匹
6月	TNR実績 15匹
7月	TNR実績 17匹
8月	どうぶつ基金の不妊手術事業「行政枠」について追加申請し、チケット（40枚）をいただく TNR実績 4匹
9月	TNR実績 14匹
10月	TNR実績 22匹
11月	どうぶつ基金の不妊手術事業「行政枠」について追加申請し、チケット（40枚）をいただく
12月	TNR実績 20匹

平成29年度 彩湖・道満グリーンパーク及び周辺地域 さくらねこ無料不妊手術事業 活動報告

協力病院執行確認

堀動物病院

埼玉県上尾市壺丁目142-24

神山動物病院

埼玉県朝霞市栄町3-7-38

事業の実施による成果・効果

- ・公園および周辺地域で一斉にTNRを実施したので、猫の生息状況を把握できた。
- ・猫愛護ボランティアと公園職員とで協力して実施したことで、ともに話し合うきっかけになった。
- ・猫が喧嘩をしなくなり、発情する時期になっても、猫がおとなしくなった
- ・生き物に対する意識の向上

今後について

- ・猫愛護ボランティアと協働し、新たな捨て猫を確認したら継続的にTNRを進める
- ・TNRについて、地域住民や他の来園者に理解してもらう
- ・餌やりマナーについても、地域住民や行政機関、他の来園者と協議してルールをつくり、他の餌やりされる方にもマナー啓発の輪を広げてもらう

平成29年度 彩湖・道満グリーンパーク及び周辺地域 さくらねこ無料不妊手術事業 活動中の様子

